

## 【論・旭川】 掲示板

旭川や地域に関する話題や情報なら基本的にどんなことでも書込みOKです。  
もちろんサイトに関するご意見・ご感想・誤りご指摘等大歓迎です。  
私momongaも自分なりに気になった話題があればブログ代わりに書込みます。



誹謗中傷やマナーに反する投稿については管理者権限において警告あるいは削除いたします。  
また宣伝広告の無断リンク等の行為はアクセス制限の上無条件に削除いたします。

なお当掲示板は画像添付やタグの使用が可能ですがあまり極端な使用はお控えください。  
特に文字サイズの乱用は掲示板全体を見づらくしてしまいます。  
画像については容量1MB以内を同時に3枚まで投稿可能ですが実際には横サイズ400ピクセル相当に縮小表示されます。  
投稿画像は画像をクリックすると最大800×600のサイズで見ることができます。  
1MBを超える画像は投稿時エラーになりますので適切なサイズに縮小の上ご投稿ください。

[Reload](#)

**【重要】teacup\_byGMOのサービス終了について**

<思いやりのあるコミュニティ宣言>  
teacup 掲示板は、皆様の権利を守りながら、思いやり、温かみのあるコミュニティづくりを応援します。  
いつもご協力いただきありがとうございます。

投稿者

メール

題名

投稿

確認

内容



入力補助



画像・ファイル

[\(詳細\)](#)

<IMG> youtubeの<IFRAME>タグが利用可能です。

URL

[ [ケータイで使う](#) ] [ [BBSティッカー](#) ] [ [書込み通知](#) ] [ [検索](#) ]

キーワード: [旭川](#) [情報](#) [歴史](#) [ [その他](#) ]

検索

《前のページ

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

次のページ》

全1586件の内、新着の記事から50件ずつ表示します。

Re: 興国神社 投稿者: [おかだ\(あ\)](#) 投稿日: 2010年 6月27日(日)00時17分39秒

[返信・引用](#)

> [No. 347\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

詳しい情報ありがとうございました。

なるほど、本当に私は旭川の歴史を知らないです！！興国神社、近いうちにブログにアップしますね。

わが故郷旭川は本当にすごいところが多いと思います。

まだまだ、アピールできる場所はありますね！

またお邪魔します～

<http://aokada1911.blog130.fc2.com/>

---

興国神社 投稿者: [momonga](#) ☑ 投稿日: 2010年 6月16日(水)17時17分45秒

[返信・引用](#)

おかだ(あ)さん。

昨年10月の旭川市広報にて東鷹栖の松平農場について掲載されています。

[http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/koho/h21\\_10/02-04\\_0910.pdf](http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/koho/h21_10/02-04_0910.pdf)

また興国神社建立の経緯と境内の植樹について北海道神社庁HPの中で若干触れられています。

<http://www.hokkaidojinjacho.jp/data/06/06003.html>

開拓期の北海道では当時の華族が広大な土地の払い下げを受けて小作人に農地を貸して経営する、いわゆる華族農場があちこちにあり、現在の東鷹栖市街地付近一帯(当時鷹栖村)もそういった華族農場の一つ松平農場によって開墾されたようです。

日本人の住む所必ず神社ありですから興国神社もその一つに違いはないでしょうが、

華族農場に建立された神社ということで境内の植樹にも華族の名が連なっているのでしょうね。

---

Re: > おかだ(あ)さん 投稿者: [おかだ\(あ\)](#) ☑ 投稿日: 2010年 6月13日(日)22時24分0秒

[返信・引用](#)

> [No. 341\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

返信ありがとうございました。実はこの5月に旭川にもどって、いろんな神社仏閣を回りました。

ブログではなくmixiにアップしているのですが、旭川神社が、なぜ東旭川にあるのか、なぞでしたが、momongaさんのコンテンツで、なるほどと思いました。

また、永山神社の件、なるほど～となりました、ありがとうございます。

いろいろみていると、そういったなぞが多いことに気がつきました。

あと、やはり特別な土地では無いかと思ったのは、興国神社(鷹栖の方にあるのですが)に、男爵クラスの方が直接植えたという木が結構な本数あったことなどで、これは特殊な土地なのではないかって思っていました。

永山神社は、上川では一番古い神社だそうですが、西小学校がそんなに古いとは知りませんでした。

しかし、こうやって事実を積み上げてゆき裏付けが取れると、面白いものですね。

私も、一緒に学んでゆきたいと思います。

これからもよろしく願いいたします。

<http://aokada1911.blog130.fc2.com/>

---

ブルーインパルス1 投稿者: [momonga](#) ☑ 投稿日: 2010年 6月13日(日)22時03分47秒

[返信・引用](#)

旭川にて初めて披露されたブルーインパルスの曲技飛行見てまいりました。

昨日も訓練で飛来し、思いも寄らぬほとんど今日の本番と変わらぬ飛行をして行き

ましたので、  
旭川市民は実質2日間に渡って迫力あるアクロバット飛行を楽しめたと思います。

最大の心配だった天気はもうこれ以上望めないような雲一つない晴天。  
旭川駐屯地は60周年記念イベントと相まってものすごい人出でした。

まずはそのほんのひとコマをアップいたします。



ブルーインパルス2 投稿者: [momonga](#)  投稿日: 2010年 6月13日(日)21時45分51秒

[返信・引用](#)



ブルーインパルス3 投稿者: [momonga](#)  投稿日: 2010年 6月13日(日)21時44分14秒

[返信・引用](#)



>はるさん 投稿者:momonga✉ 投稿日:2010年 6月13日(日)21時35分50秒

[返信・引用](#)

こちらこそはじめまして。

旭川の郷土史については市民にすら正しい情報が提供されているとは思えません。上川離宮のことや旭川の地名由来についてほとんど触れられる機会がないのが実情かと思われます。

ほとんどの市民はただ漠然と「旭川は屯田兵によって開拓された」くらいの知識しかないのが実態ではないでしょうか。

ですから、はるさんがそう思われたのは当然かと思えます。

私だってつい何年か前までは似たようなもんでした。

参考になったと言われるとたいへん恐縮ですし、嬉しい言葉でもあります。でも私もまだまだ勉強途中ですので一緒に頑張って疑問に取り組んでいただければ幸いです。

ウッペツ川・・・  
私も昔ドジョウやウグイを釣った川ですよ（笑）

> おかだ(あ)さん 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 6月13日(日)21時00分18秒

[返信・引用](#)

永山のご出身だったんですね。

永山は明治天皇による命名と言われ、永山神社の神輿（みこし）には16弁の菊の御紋が入るといふ由緒ある地です。

[http://homepage2.nifty.com/momonga\\_farm/nazo/nagayama.html](http://homepage2.nifty.com/momonga_farm/nazo/nagayama.html)

永山西小学校は、永山屯田兵村への入殖開始と同時に西兵村（第三大団第一中隊）に開校した兵村立尋常小学校がその始まりで、現在の旭川市内では最も古い学校です。

永山神社についてもおそらくその起源は旭川で最も古いと思われます。

なんせ永山というのは曙地区にできた小集落を除けば当時上川にできた初めての本格的移住地域ですから、必然的に神社にしても学校にしても最も伝統あるものが多いですよ。

はじめまして。 投稿者: はる 投稿日: 2010年 6月13日(日)11時45分34秒

[返信・引用](#)

はじめまして。私は現在大学一年生のはるといいます。今旭川を離れているのですが、生まれも育ちも旭川です。

ウッペツ川という地元の川について調べていたら偶然こちらのサイトを発見したのですが、小さいころからよく知っている地名の裏話等とても驚きました。離宮の事など全く知りませんでした。

神楽や神居などアイヌ語にしては随分大層な名前だなあと感じていましたが、これも「旭川」と同じく折衷案だったのでしょうか。とにかく驚き参考になりましたし、旭川が故郷である人間にとって知っておくべきではないのかと思いました。これからもちょくちょく見させていただきます（^^）

Re: 函館の「自由の女神」 投稿者: おかだ(あ) 投稿日: 2010年 6月12日(土)21時42分52秒

[返信・引用](#)

> [No. 338\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

これは驚きました。そうなんですか。確かに観光目当てではずしてしまっているものがありますね。

実際、探すと、まだまだ普通にアピールできるものがあるとおもうのですが・・・

周りをみて、もっと北海道のすばらしさを再認識してほしいですね。

<http://aokada1911.blog130.fc2.com/>

函館の「自由の女神」 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 6月10日(木)12時13分1秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

今朝の北海道新聞社会面に大きく採り上げられていましたが、函館元町の景観保全地区にFRP製の自由の女神もどきを造り非難を浴びているカニ卸業社がいるそうです。

住民や観光客からの苦情を受けた函館市も指導に乗り出したとの事です。

北海道の人間にはその地域に何の縁もゆかりもない脈略のない施設を造ろうとする癖があるのかもしれない。

いちばん多いのが観音像の部類ではないかと思えます。

道内のあちこちの地域や観光施設には「何でこんなところに・・・」と思える観音像が唐突に現れる光景をよく見ます。

まあ、信教は自由ですし、本人がカネを出して造るのは勝手と言えれば勝手です

が・・  
 しかし歴史的な背景もゆかりもない場所に単に地域の人や訪れた人が喜ぶだろうと  
 考えているとすれば滑稽なだけです。  
 自分の悪趣味を他人に押し付けているとしか言いようがありません。  
 目に付かない場所や大きさなら誰も文句は言わないでしょうがこの手のモノはそう  
 ではないからたちが悪い。  
 やはりその地域と何の脈絡のないものは誰にも相手にされません。  
 今回の函館の「自由の女神」騒動はその典型的な例と言えます。

我が旭川もけっして他人ごとではありません。  
 現実問題、偕行社を何の脈絡もない北彩都へもって行こうと言い出す情けない市議  
 がいるくらいなのですから。  
 逆に北彩都に深い関わりのあるせつかくの歴史的建造物を潰したり何の脈絡もない  
 用途にしてしまうのですから。  
 旭川が今後多くの観光客を呼び込みたいと願うなら、  
 世間の笑いものになって見放される事にだけはならないよう市民が監視しなければ  
 ならないと思います。

音楽行進その1 投稿者: momonga  投稿日: 2010年 6月 7日(月)17時37分20秒

[返信・引用](#)

今年もまた行って参りました。  
 前日4日までは例によってシトシト降る典型的な涙雨でしたが、  
 5日は晴天、気温も20度ちょっととさほど暑くないベストコンディションとなり  
 ました。

今年は数年ぶりに護国神社祭本祭日と第一土曜日が重なってこの音楽行進本来の日  
 程となりましたが、  
 残念ながらAPECの警備のため道警音楽隊が欠場でした。  
 旭川開村120周年ということですが特別なゲストバンドや行事もなく、いつも通  
 りの行進風景でした。  
 ただ、午前中から天気が良かったので沿道の観客はかなり多かったように思いま  
 す。

上：例年開会式では道警音楽隊がドリル演奏を披露してくれますが今年は凌雲高校  
 がピンチヒッターです。  
 これも見事なドリル演奏と演舞付よさこいソーランを披露してくれました。

中：昨年に続き今年も10台のサイドカー付ハーレーダビッドソンからなるハーレ  
 ー警ら隊がパレードを先導しました。

下：今年開村120年を迎えた旭川市の記念ロゴです。





音楽行進その2 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 6月 7日(月)17時34分8秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

上：今年創設60周年の第2師団は第2音楽隊ともう一つ久々にラッパ隊を編成してきました。

中：札幌からの一般バンドとしては唯一の「AXIS Drum&Wind, Brass Corps」少人数ですがキマってます。

下：「北都商業高等学校」のプラカードを見ることができるのはこれが最後となりました。

今の3年生が卒業すると学校の名は消滅します。部員も3年生のみなので明成高校との合同演奏となりました。

心なしかプラカードを持つ女生徒も淋しそうな表情です。さようなら北都商。





Re: はじめまして 投稿者:momonga✉ 投稿日:2010年 6月 7日(月)12時12分53秒

[返信・引用](#)

おかだ（あ）さん、サイトへのご訪問ありがとうございます。

私も社会人になってから2度ほど旭川を離れて東京に住みましたが、  
離れる度に旭川の良さを再認識してきました。  
特に自然の豊富さ、暮しやすさ、利便性の良さですね。

そして益々魅力を感じるようになったのはこのマチの生い立ちに興味を持ってから  
です。  
私はそれまでもずっと旭川が好きだったとは言え、恥ずかしながら歴史はあまり知  
らなかった・・

ところがひょんなきっかけから歴史に突っ込んで行くうちにこのマチに対する認識が完全に変わりました。

わずか120年の歴史ですが実にドラマのある120年だと思います。  
神社仏閣や古い建物に興味をお持ちなのでしたら是非合わせてその歴史も研究されると面白いエピソードが出てくるかもしれませんよ。

是非また遊びにいらしてください。

---

はじめまして 投稿者: [おかだ\(あ\)](#) 投稿日: 2010年 6月 6日(日)22時06分40秒

[返信・引用](#)

こんばんは。はじめまして。  
旭川出身のおかだ(あ)と申します。現在は東京に暮らしています。

実は最近ですが、momongaさんがTOPに書かれていますように、好きな旭川のことをほとんど知らないことに気がつき、いろいろと調べたりしているところです。

ゴールデンウィークに帰省して、神社仏閣や、古い建物、公園などを回ってみてまだまだ、旭川を生かしきれていないと思いました。

これからもたまにお邪魔します。

---

Co Co De 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 6月 1日(火)20時37分39秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

旧国鉄旭川工場レンガ棟の修復工事が完了したようです。  
内部は既に備品も搬入済みようで後は開館を待つばかりといった感じです。

外観はレンガ部分の修復が必要最小限に抑えられており、色の剥げや昔の増改築の痕跡などはそのまま残しています。

へたにレンガを新しいものに替えたり塗装するよりは良い選択かと思います。  
また、2棟の正面玄関に向かう舗道にはいずれも線路が埋め込まれており、この建物内にかつて鉄路が敷き込まれていた事をイメージしています。  
外観を見る限りは思っていたよりも「古さ」を守ってくれたようです。

残念ながらまだオープンしていないので内部は見る事ができませんでしたが、広いガラスの開口部からうかがえる様子から以前とは似ても似つかぬ姿である事が分かります。  
おそらく中に入ってしまうと古さや旧工場時代の面影を感じる事はないでしょう。

以前から市民活動交流センター「Co Co De」とやらの用途について批判していますが、

改めてこのわけの分からぬ用途について考えさせられました。

何故にこのような限られた内輪の人間が使う建物にしてしまったのか？

何故にもっと広く一般市民や観光客向けの用途として考えなかったのか？

すぐ隣は科学館で市内外からの人が多く集まりますし付近一帯は北彩都の河川空間にも繋がる円環広場です。

この味のあるレンガ棟を見て「何の建物だろう？」と興味を持って入ろうとする人は多いと思います。

しかしいざ入ってみると「なんだかよそ者には関係なさそうだな・・・」と思わせるのは非常に残念です。

現状でもやはり「Co Co De (ここで) いったい何をするの？」という疑問でいっぱいです。

オープンしてからまた実態を確認してみたいと思います。



今年イベントの多い年です 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 5月27日(木)12時19分48秒

[返信・引用](#)

旭川開村120年、第2師団創立60周年をはじめ、10月にはいよいよ高架が開通し新駅も仮開業します。

開村120年記念行事の目玉は「北の恵み 食べマルシェ」と銘打った巨大市場だそうです。  
旭川駅前広場から買物公園・7条緑道を経て常磐公園に至る会場に220基ものテントを並べ、旭川だけではなく道北各地から様々な食の産品を一堂に会するというものです。  
これだけの数のテントが中心街メインストリートに延々と並ぶ光景というのは今からちょっと楽しみです。

平和通りが歩行者天国だからこそ企画できたイベントではないでしょうか。道内外の百貨店・スーパーなどからバイヤーを招聘し、視察・商談会を開催して今後の販売に結びつけようというのも珍しく抜け目のない良い企画だと思います。農産物をはじめ加工品や調理品、スウィーツなど道北の味自慢が並ぶようですので大いに盛り上がる事を期待します。

北の恵み 食べマルシェ

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/kaison120/tabe-marushe.html>

新駅舎

[http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/ekikaihatsu/eki\\_new/index.htm](http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/ekikaihatsu/eki_new/index.htm)

その前に楽しみなのが来月13日の第2師団創立60周年行事の1つ、ブルーインパルスの飛来です。

旭川駐屯地上空でのアクロバット飛行となると危険度は普天間どころじゃないですからあまり派手なプログラムは期待してませんが、私自身まだ生で見た事がないので低空での超接近編隊飛行を見るだけでも楽しみです。

当日の旭川上空はさぞかし賑やかな事になるでしょうね。

行事を知らない人は「何事か！空襲か！？」と驚くハメになる事うけあいです。

なんとか天気に恵まれる事を祈っています。

創立記念行事

<http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/2d/22souritu/top.html>

ブルーインパルス

<http://www.mod.go.jp/asdf/blueimpulse/>

それにしても改めて気付かされましたが、

第2師団創立60年、旭川駐屯地が開設されて58年ということは既に旭川の歴史の半分の期間を自衛隊と共に過ごしている事になります。

旧陸軍第七師団は明治33年に司令部を旭川に移してから太平洋戦争終結までの45年間でしたから、

いつのまにか自衛隊と共存している期間のほうが旧軍のそれを大きく上回っていたんですね。

ただマチへの影響力という意味では旧軍のほうが遥かに大きかったでしょうし、

旧軍の45年間というのは日露戦争旅順攻撃に始まる激戦地への遠征の繰り返しでした。

これらイベントで楽しんでいられる今の時代を幸せに思いますが、

こういった機会にちょっとは心の片隅で”国防”について考えてみるのも良いのではないのでしょうか。

八千代ヶ岡 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 5月20日(木)17時31分0秒

[返信・引用](#)

千代ヶ岡の東側に隣接した東神楽町の丘陵地帯を八千代ヶ岡（やちよがおか）と言いますが、

ここもたいへん奥行きのある丘陵地帯で大雪山カントリークラブ周辺から東神楽森林公園や志比内の近くまで続きます。

行政区画こそ東神楽町になりますが実際には旭川市の千代ヶ岡・就実の丘に連続した丘陵です。

その名からもお察しの通りこの付近一帯までがかつての上川離宮・帝室御料地でした。

（実際には忠別川と美瑛川の間という以外に厳密な境界など存在しなかった）

先日、天気の良いさに誘われてこの付近をウロウロしてきました。

本当は就実の丘から雪解けの始まっている大雪山連峰の風景を撮ろうと思ったのですが、

より大雪山に近づきたかったのと八千代ヶ岡の奥深くまではまだ潜入？した事がなかったので行ってみました。

いやはや、ビックリしました。実にいいロケーションじゃありませんか。

就実の丘・美瑛の丘にもぜんぜん引けを取りません。

いや、農道をかなりウロウロしたのでもしかしたら下の写真は就実の丘の域に入っ

てるかもしれません。  
この付近に入り込むとカーナビにも記されていない農道ばかりなのでどこをどう走っているか分からなくなります。  
今回は森林公園側から気の赴くままに入り込んだので訳が分からなくなりましたが次回はしっかり確認したいと思います。

ここへ行こうとする方はくれぐれも農作業の邪魔にだけはならないよう気を付ける必要があります。  
トラクターが来たらすれ違えないような純粋に農作業のための道ばかりです。  
最近の就実の丘を訪れる人の多さや「畑に入るな」の立て看板の多さを見るにつけ自分も含め気を付けたいと思います。



Re: 駅前医療モール 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 5月 8日(土)23時13分5秒

[返信・引用](#)

亀吉@あんぐりさん今晚は。お久しぶりです。

旭川はけっして無計画な市街化を行なってきた訳ではないと思います。無計画どころかほぼ完璧とも言える都市計画で、市街化区域・調整区域がきっちり順守されている都市の優等生です。ただ、昭和30年代から40年代にかけて次々と行なわれた昭和の大合併により、本来は隣町であった周辺の町村域まで市街地が膨らんでしまった事が人口に比して面積が過大になった要因でしょうね。この時代に合併した神居・永山・東旭川・東鷹栖・神楽などを除けば実にコンパクトな街になっていたと思います。がしかし、だからと言って合併がなければ郊外への拡がりがなかったか？と言えばそれもなかったのではないのでしょうか。逆に旭川市単体の人口は下手すると20万人以下に減少し、その分周辺町の人口が増えていただけの事だと思います。市街地の面積ばかりがどんどん広がったのは旭川だけに限らない北海道各都市の特性であり、より快適な住居環境を郊外に求めてきた結果ではないでしょうか。

ただ、合併都市である旭川の場合はそれが顕著である事は否めないでしょうね。旧市街地には随分と空地・未利用地が多いですし、人口密度も利用密度も低いです。北海道のマチらしいと言えばそれまでですが、この事はいわゆる「活気がないマチ」に結び付いてるし、都市インフラや交通機関などあらゆる面で効率・採算性を悪くしているのは間違いないところです。つい何年か前まで旭川市では長期計画における想定人口を40万人以上としており、この想定人口の是正があまりに遅かったのも市街化区域を広げ過ぎた要因かと思われる。いずれにしても、いったん広がってしまったマチを”縮める”なんてのは不可能に近いのは確かですから、現状規模の環境の中で如何に中心市街地の役割を再構築して行くかが今後の課題だと思います。

病院もそうですが、日々の食料品ひとつとってもクルマで行ける大型店ばかりが利便性を増していますが、クルマを使えない立場の人間にとっては逆にどんどん不便になっている事を知るべきですよ。大型店ができる事によって近所にあった小売店が閉店してしまい、歩いて行ける距離に店がなくなってしまうという話はその辺にゴロゴロしており、買い物籠を抱えてその日必要な食料を買いに行ったという亀吉@あんぐりさんのお話しはけっして懐古趣味ではなく、それこそこれからの時代きっとまた必要になってくると思います。

私も自称「古き良き時代を知る最後の世代」として近所の八百屋を応援します。

Re: 駅前医療モール 投稿者: 亀吉@あんぐり 投稿日: 2010年 5月 5日(水)19時39分24秒

[返信・引用](#)

読ませていただきました。一時期本州のとある県庁所在地に住んだのですが、最初空港から駅に向かう街並みを見てあまりに住宅が駅周辺に密集し、周りは田んぼと畑ばかりで田舎だと思いました。しかし、住んで暫くすると（人口は旭川とほぼ同じ）市がスモールタウン構想を早くから実践しているおかげで、何をするにも移動が少なく、除雪の際も短時間で済むのです。医療関係も、県立病院を中心に街の一角が医療タウンになってり、その為個人病院の顧客サービスが面白く「朝7時から鼻から内視鏡検査出来ます 検査後出勤OK」「土日でも開院してます」「朝8時から夜9時まで」等、患者優先の体制になっています。無計画な旭川市の市街化で、人口は増加しないのに果てしなく郊外に広がる街並みを”都会化”と感じるのは如何なものかと考えさせられます。momongaさんのおっしゃるように、これからの高齢化社会では移動手段が一番の問

題になってきます。駅を中心とした、マイカーに依存しない社会の構築が必要だと思えます。懐古趣味と笑われるかもしれませんが、昔のように赤十字市場等のような近所の店が再び再生する事を望みます。当時、大型冷蔵庫のなかった頃は、母親がマイバック（買い物籠）を抱えて店に行きました。魚は新聞紙で包み、野菜はそのまま籠に入れて、その日必要な物を、必要なだけ買い揃えました。私が住んでいた街も大型スーパーがありました。が、反面昔ながらの商店も残っており、上手に使い分けていました。街全体が小さいので、冬場には灯油を積んだローリー一車が放送を流しながら、ちりかみ交換のように灯油を売り歩く姿にも驚きました。駅前再活性化がこの街の未来に繋がると思っています。

Re: 二度と行かない！ 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 5月 5日(水)19時09分50秒

[返信・引用](#)

地獄さん、  
楽しみも何もかも吹っ飛ばしたのはあなた自身の責任と人格以外の何ものでもありません。  
自分自身の責任を転嫁するに留まらず罵倒暴言を吐いたところで誰にも同情はされませんよ。

極楽さん。  
あなたの人格はそれ以下です。

このお二人の書き込みは、自分の愚かさをわざわざネット上に表明した見本として削除しないでおきます。  
ただし、また同様の書き込みがあった場合は削除いたします。

Re: 二度と行かない！ 投稿者: 極楽 投稿日: 2010年 5月 3日(月)22時12分15秒

[返信・引用](#)

> [No. 326\[元記事へ\]](#)

ざまあwwww

> 楽しみにしていた動物園の帰り、道がわからじ右折しようとしたら捕まり、右折禁止の時間帯だねなんだのとぬかし点数二点引きと7000円ぼったくられた。楽しみも何もかも吹っ飛んだ。もう二度と行かぬぞあんな町、借金でつぶれろ！そして地震でもおきて一人残らずくたばれ

二度と行かない！ 投稿者: 地獄 投稿日: 2010年 5月 3日(月)12時48分52秒

[返信・引用](#)

楽しみにしていた動物園の帰り、道がわからじ右折しようとしたら捕まり、右折禁止の時間帯だねなんだのとぬかし点数二点引きと7000円ぼったくられた。楽しみも何もかも吹っ飛んだ。もう二度と行かぬぞあんな町、借金でつぶれろ！そして地震でもおきて一人残らずくたばれ

駅前医療モール 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 5月 1日(土)13時06分47秒

[返信・引用](#)

旭川駅前広場のすぐ横には北彩都病院という地元の民間病院としては大手の病院が建っています。  
初めて訪れる人を見ると、その場所と外観からたぶんホテルだろうと勘違いする人が多いのではないかと思います。  
まさか駅に隣接した一等地に建ってるのが病院であるとはあまり思い及ばないからです。  
中には「駅の隣の一等地が病院とはよっぽど他に建つものがなかったのか？」などと揶揄する声も聞かれます。

確かに旭川規模の都市の表玄関でこのような病院の存在は非常にレアなケースかと思えます。  
私も建設当初は「う～ん、ここに病院か・・・」と思ったものです。  
しかしその思いはここに建てた理由を知ると同時に消え去り、その後は医療先進都市旭川を象徴するものとして非常に良かったのではないかと感じています。

ちなみに北彩都病院は前身の石田病院時代から人工透析で名を馳せた病院で、以前は”病院銀座”と呼ばれる4条通り沿いがありました。

人工透析が必要な方というのは旅行先だろうが出張中だろうが数日ごとに欠かさず透析を受けなければ命に係わります。もちろん自分のマチに人工透析を行なえる病院がない場合はそれがあある病院のマチまで日常的に通わなければなりません。つまり、このような診療科目を持つ病院は、市内外どこから来るにも交通機関の利便性が高く初めて訪れる旅行者でも分かりやすい駅の近辺というのが理想的な場所なのです。

これは何も人工透析だけに限った話ではありません。とかく健常者はその苦勞を知らないですから、病院というのは駅周辺の繁華街には相応しくないという先入観を持つてる気がします。が、実は病院こそ本来は最も公共交通機関の便利な場所にあるべきなのではないでしょうか。旭川のように各種医療機関が充実し、他地域からの通院・入院患者も多い都市ならなおさらそれが言えると思います。体調の悪い患者やお年寄り、あるいは妊婦や小さな子供連れのお母さん、皆が皆マイカーで通えるわけではないのです。

そんな中、旭川駅正面にある駅前ビルをショッピングモールならぬ医療モールにしようという計画が進んでるようです。各種診療科目を担う個人クリニックを4~5階のフロアに集約して入居してもらい、フロア全体として総合病院のような形態を形づくるといふものです。つまり、交通の便の良い駅前ビルへさえ行けばあたかも総合病院の外来へ行ったように希望の診療科目の診察が受けられるという訳です。医療モールは入院設備を持たないクリニックの集合なので、入院やより高度な治療が必要な場合は市内の総合病院や専門病院を紹介してもらい、といった医療分業が行なわれるとの事。既に整形外科と耳鼻咽喉科、調剤薬局、それに鍼灸院が入居開院しており、他にも入居に向けての打診や問合せが複数あるという事なのでモール実現への可能性はかなり高そうです。個々のクリニックにとっても経費面や相乗効果によるメリットが大きいのではないかと思います。

こういった医療モールが旭川駅の真ん前にできれば、今でも存在感充分の北彩都病院と合わせ、医療先進都市旭川を象徴する独自の「駅前個性」が形づくられるのではないのでしょうか。何も商業施設ばかり居並ぶのが駅前の役割ではないのです。少なくとも消費者金融の看板ばかりがやたら目に付く駅前光景よりは遥かに健全な個性だと思います。

ガーデン街道の宿泊拠点、旭川は？ 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 4月18日(日)10 時54分32秒 [返信・引用](#) [編集済](#)

北海道ガーデン街道のホームページが開設されました。  
<http://www.hokkaido-garden.jp/>

これまで旭川と十勝地方というのはどちらかと言うと疎遠な関係だったと思います。いや、むしろ昔のほうが直通の急行列車が走っていた分まだ往来があったような気がします。石勝線が開通して根室線を走っていた列車が全てあちやらを向いてしまっからいよいよ疎遠になってしまったのではないのでしょうか。今後も道東道がやはり札幌に向けて繋がってしまえば益々縁遠くなってしまふのは間違いないところです。

そんな中、十勝と初めて観光面で手を結んだ今回のガーデン街道。相乗効果が期待でき、ガーデン巡りを一本のルート上に関連付けたというこれまでになかった企画であると思います。ガーデン間の距離がちょっと離れている感じもしますが、これもいかにも北海道らしくて良いのではないのでしょうか。実際には間に富良野・美瑛の花畑もあるし、ちょうど真ん中にはサホロ・トマムなどのリゾートもあるので様々なツアー企画が可能かと思ひます。旅行会社の反応も良いとの事で、これまでに無かった新たな観光ルート・需要が確



立すれば沿線のメリットも大きいのではないのでしょうか。

私が何よりも期待したいのは、とかく札幌宿泊に偏りがちなツアーの潮流が少しでも変わって行けば、という事です。  
現状ではたとえ旭山・富良野・美瑛がメインの観光ツアーであっても、宿泊は札幌で発着は新千歳というツアーのなんと多いことか・  
これが反対側の十勝に流れを向ける事によって発着は旭川空港か帯広空港、宿泊は旭川を含むこのルート沿線に位置するホテル、というパターンが増える事を期待したい。  
また、そうしなければいつまで経ってもおいしいところは札幌に持って行かれっぱなしです。  
その意味でもっともっと十勝と強力にタッグを組んで行く事が旭川・上川地域にとっても得策かもしれません。

そこで問題となるのがやはり旭川のホテル事情です。  
上記のHP内でも「森やガーデンのあるホテル」として数件のホテルが紹介されていますが、例によって旭川のホテルは載っていません。  
載ってないと言うより載せられるホテルが無いというのが実情でしょう。  
もちろん旭川には何件かのシティホテルはありますが、ガーデンを持つホテルは一件もありませんし、実は観光客向けとしては全体的に全くのキャパ不足です。  
安っぽいビジネスホテルの客室数までカウントして「パイの奪い合いになる」などと言っている場合ではないのです。  
気の利いたホテルが少ないばかりに現状ですら宿泊客の多くを逃してしまっている実態を認識すべきです。  
このままではせっかく新たなコンテンツが誕生しても旭川はやはり宿泊地としての対象から外れてしまいます。

北彩都の河川空間に構想中のガーデンが造成され、  
くどいようですが、ここに収容力のあるリゾート型ホテルが加われば今回のガーデン街道の趣旨にもぴったりマッチするでしょうし、それがあってはじめて宿泊拠点として旭川も加わる事ができるのではないのでしょうか。

Re: 偕行社を移転？ 投稿者: momonga  投稿日: 2010年 3月23日(火)21時30分5秒

[返信・引用](#)

こうきさん、ご賛同ありがとうございます。

私は北彩都を観光地化する事は大いに結構だと思っています。  
いま進められようとしているガーデン構想にも大賛成です。  
北彩都にたくさんの観光客が集えば必然的に至近距離である買物公園をはじめとする中心街活性化にもつながります。

ただし、ぜったいに忘れていけないのが北彩都の当初からのコンセプトです。  
「都市と川との融合」という川のマチ旭川ならではのコンセプト・・・  
これを崩してしまうようではどこにでもある単なる田舎都市の再開発に過ぎなくなります。  
ですからガーデン構想にしてもあくまでこのコンセプトの範囲で進めるべきで、俗っぽい土産物屋や飲食店や、何ら脈絡のない趣味の悪い建造物は要らんです。  
偕行社をここへもって行くという事は、いくら外観は格好良くてもこの歴史的文化財を趣味の悪い建造物に貶めてしまう事を意味します。

観光地化は大いに結構と申しましたが、必要なのはリゾート型ホテルだけだと考えています。  
最低限新富良野プリンス並みの集客力と収容力を持つメジャーなホテルが是非とも欲しい・・・  
この事は以前にも触れましたが、旭川・富良野・美瑛の広域観光の宿泊拠点としての北彩都を確立するのです。  
宿泊客の大半を札幌に奪われている現状を考えると充分に需要はあると思われま  
す。  
広大な河川敷公園に大池を配した日本では他に類を見ない広々とした都市ロケーションはそれだけでも絵になります。  
そこに上野ファーム監修のガーデンが加われば他に余計なものは要りません。  
食事やショッピングはそれこそ買物公園やサンロク街へ歩いて行ける距離なので  
から。

市議さんもそうですが旭川市の行政側には、馬鹿げた事を考える暇があったらこういったリゾートホテルの誘致や、北彩都と買物公園側を結ぶペDESTリアンデッキでも検討したらどうですか？と言いたいです。

Re: 偕行社を移転？ 投稿者: [こうき](#) 投稿日: 2010年 3月20日(土)10時21分48秒

[返信・引用](#)

> [No. 321\[元記事へ\]](#)

momongaさん、おはようございます。

わがまちは「北彩都を観光地化する」方角へ、急速に舵を切ろうとしていますね。もう何が出てきてもおかしくない、そう思っていた矢先の偕行社移築計画の露出でした。老朽化のため改築の必要性があるとは聞かされていましたが、彫刻美術館の収蔵物を新駅の高架下に持っていき、と聞いた時に、なんとなくいやな思いがしたのはこのことだったかもしれません。

歴史を学ばぬ人たちが、まちを粉々にしていく——そんな感覚です。

まだ国の承認が得られるか分からないこの段階で道新が記事にしたのは、道新の内部にも「これってどうなの？」という感情があるのかな？と多少は期待しているんですが。まあ軍都であった過去をきれいに消し去りたい人たちも多くおられますので、この計画自体も一定の賛同を得られるのではないかと思います。残念ですが。

> ”有望な若手市議”と称される人が旭川の歴史に対してこの程度の軽さなのか？と思うと情けない限りです。旭川市議会の「論客」なのですってね。買物公園に淡水水族館を、電気自動車より馬車を、ですか。一部商業者に対しての利益誘導をする「政治屋」にしか見えません…。

私は私に与えられた領分で、今後この偕行社移築計画に反対をしていきます。反対運動が起これば、積極的に参加していくつもりです。

偕行社を移転？ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 3月19日(金)23時36分10秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

昨日の道新朝刊旭川ローカル版に小っちゃいながらも、えっ！？と驚く記事がありました。今後数年間で一旦解体に近い大修復が決まっている偕行社ですが、何と北彩都へ移転しようという提案が市議会に出されたというものです。で、どうするのかと言えば、ホテルとかレストランにしたいそうです。（用途すら明確でない）冗談じゃありません。私はこの記事を見てあまりの浅はかさに啞然としました。旭川にとってこれほど重大な案件を一市議の薄っぺらな思いつきで進められたらたまったもんでありません。

これを提案したのは市長選にも立候補した事のある若手市議。旭川の歴史と偕行社についていったいどの程度の認識を持っているのか是非尋ねてみたいものです。このような提案をする事自体「明治時代の洒落た建物」くらいの認識だとしか思えません。

もし偕行社が北彩都へ移転されるような事があれば、それだけでこの建物の存在価値は半減どころかほとんど意味を成さなくなるでしょう。ましてホテルやレストランに改造でもされようもんなら国の重要文化財は取り消され、それこそ単なる洒落た建物に過ぎなくなります。さらに問題なのは現在計画が持ち上がっているガーデン構想と抱き合わせて観光客を呼び込もうという発想。この発想からも偕行社の外形しか頭になく、ガーデンについても何か勘違いした脈絡のないテーマパーク的施設を描いてると思われまます。

様々な要素を考え合わせると、このトンデモ案はおそらく実現は困難であろうと思います。いや、絶対に実現はあってはなりません。偕行社は旭橋と並び、建築物では唯一と言っても過言ではない戦前からの旭川のシンボルです。

それは即ち旧第七師団のシンボルであった事も意味します。  
 良きも悪しきも、建築時から変わらぬ現在の場所、つまり旧師団衛戍地にあつてこそ圧倒的に存在価値があるのです。  
 天皇陛下も宿泊された戦前までの華やかな時代、敗戦後の進駐軍に接收された時代、その後放置され廃屋となり危うく解体されかけた時代、等々を乗り越えて現在の姿があります。  
 借行社の前庭である春光園も建物とセットのロケーションとして古くから親しまれています。  
 そんな借行社を一時の思いつきでいじくり回そうとする事は、旭川の成り立ちを深く知る市民ほど反発するでしょう。

”有望な若手市議”と称される人が旭川の歴史に対してこの程度の軽さなのか？と思うと情けない限りです。

[http://homepage2.nifty.com/momonga\\_farm/gunto/kaikousya.html](http://homepage2.nifty.com/momonga_farm/gunto/kaikousya.html)

Re: 迷惑な80代じじい 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 3月18日(木)18時48分30秒

[返信・引用](#)

正義の味方さん、私にとってはあなたのこの手の書き込みが迷惑です。  
 先日も病院の実名を上げて書き込まれてましたよね？  
 根拠が不明なため風評と判断して削除しました。  
 当掲示板は表示こそしてませんがリモートホストの管理ができる事を覚えておいてください。

本当に住民が迷惑しているのであれば正義の味方を名乗っているんですからご自分で注意されればよろしいのでは？  
 ここに愚痴を書き込んだって何の解決にもなりませんよ。

迷惑な80代じじい 投稿者: 正義の味方 投稿日: 2010年 3月18日(木)13時43分27秒

[返信・引用](#)

神楽岡6条に毎日一時間おきに近所うろつくは・歩道の排水溝ふたツルハシでこじ開け雪や犬の糞捨てまくる迷惑な老人がいます。その老人は小学生低学年の子どもが老人の家の前歩くだけでなんだかんだ因縁つけて怒鳴ったりもします。自分の家の前だけ雪割すればいいのに十字路の道路片方だけ執着していてセッセと近所の家の周りの雪割してます。毎日スコップの音がうるさいので近所住民可哀想です。道路や壁がひどく壊れている警察注意してください

また一つ消える地元店 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 3月11日(木)22時44分31秒

[返信・引用](#)

旭友ストアが間もなく閉店になります。  
 これまで地元誌にあれこれと書き立てられワンマン経営を批判され続けてきた旭友ストア（旭川電気軌道）ですが、  
 なんだかんだ言って唯一どこの傘下にも入らずに孤軍奮闘してきた地元スーパーでした。  
 永年親しまれてきた「旭友」の名前が消えてしまうとなるとやはり一抹の寂しさを感じます。  
 せめてふじスーパーのように大手グループ傘下に収まってでも継続する道がなかったのか？  
 電気軌道であれば私鉄系とのコネクションもあると思うのですが・・・  
 まあ、その機を逃してしまったからこそ丸ごと撤退するしか手は無くなったんでしょうね。  
 裁判沙汰にもなっている一部の店舗戦略の失敗もかなりの負担になっていると思われる。

私も現在の場所に住んで20年近くなりますが、ずっと旭友ストアのお世話になってきました。  
 後になってもう少し近い場所に別の大手スーパーが進出してきたのですが、値段は確かに多少安いとはいえ「大家族向けパック」「質より量」的な品揃いがちょっと相容れなかったのと、  
 やはりどうせ買うなら地元のスーパーからという意識が働いたのは言うまでもありません。  
 通常の買物ポイントとは別に端数の釣銭を貯めておくシステムも割と気に入ってました。  
 所帯じみた話ですみません。m( )m

時流の変化とは恐ろしいものです。  
旭川電気軌道の事業の大黒柱はもちろんバス事業です。  
ところがつい数年前まではこのバス事業の方がずっと赤字続きでそれを補って来たのがスーパー事業だと言われています。  
それが近年の価格破壊やデフレ進行、業界の系列化と大手スーパーの進出ですっかり価格競争力を失ってしまいました。  
逆にバス事業の方は分社による大胆な人件費カットと旭山動物園ブームによる利用者増で息を吹き返しています。  
本来なら今度はスーパー事業を支えてやるべきところでしょうが、もはや限界という事でしょうか。

これで旭川の食料品スーパーは僅かここ十年ほどでアークス系やイオン系、それに生協（コープさっぽろ）やダイイチ（帯広）といった旭川以外の系列や資本にほぼ席卷された格好になります。  
経営母体に変化がないのは農協エーコープくらいなものでしょうか。（農協同士の合併はありますが）  
アークス傘下となったものの元々地元資本であるふじスーパーが健闘しているのがせめてもの救いです。

何故こんな事に拘るのかと言えば、  
消費者が低価格のみを追いかけて行くと、結局のところ行き着くのは地元の小売店や食品産業の崩壊だからです。  
今まで旭友ストアに納入してきた地元業者も大きな痛手を被るでしょう。  
スーパー業界が盛んに系列化・グループ化を図るのは所詮は大量一括仕入によるコストダウンが目的です。  
従ってこれまで旭友に納品してきた業者は取引してもらえなくなる可能性が高く、仮に納品できたとしても更なる価格の引き下げを要求されるでしょう。  
少しでも安いものという気持ちは私も同じですが、この調子で地元の産業が淘汰されて行く事が果たして市民にとって得策なのか？  
どこか10円20円の安さを求めて100円分のガソリンを余計に使う愚行に似てる気がしてなりません。

ちょっと感傷的過ぎるかもしれませんが、  
私はこの旭川において、  
毎日口にする食料品を買うのが何故に“コープ”“さっぽろ”でなきゃならないのか？  
すぐ近郊でも収穫されてる野菜なのに売られているのは何故に本州産なのか？  
せめて食料品くらい大手の価格競争に巻き込まれずに地元のスーパーや八百屋がやって行ける環境にならないものなのか？  
と理屈では分かっているけど、やっぱり疑問に思っています。

限度を超えたガリガリの価格競争が、結局は中国産品などの氾濫に結びつき、食料自給率を下げ、地元産業を衰退させ、農薬ウナギや毒入り餃子のようなものを掴まされる羽目になっていると考えるのは少し被害妄想過ぎるでしょうか？

カーリング 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 2月21日(日)19時32分46秒

[返信・引用](#)

バンクーバーオリンピックがたけなわですね。  
私は数ある競技の中でもカーリングを楽しみにしています。  
昨日も日本女子チームがスーパーショットを決めて最終エンドを待たずにイギリスをギブアップさせました。

このカーリングという競技、  
一見、大の大人がデッキブラシをゴシゴシやってる姿がユーモラスな遊びにしか見えません。  
ルールも非常に単純明快、対戦チームが交互にストーンを放って最終的に相手ストーンより円の内側に残したストーンの数が高得点というものです。  
日本では長野オリンピックで正式種目に採用されてからようやく一般に知れ渡ってきたと思いますが、  
かく言う私も、オリンピック種目になると聞いた時は「え？あんな遊びが？」と思った程度の認識でした。

ところがどっこいこの競技、知れば知るほど実に奥深いものがあります。  
対戦チーム互いに最後の一投を見据えて競技が進行して行きますが、  
正直、中途過程を見ていると、何が狙いなのか？どうしてあんなところにストーン

を置くのか??

解説を聞かなければさっぱり分かりません。いえ、聞いてもまだ分かりません  
(笑)

だいたい故意に相手に1点取らせるスポーツなど他にあるか!?

見ている限りでは氷上のビリヤードといった趣きですが、  
常に先を読みながら詰めの一手を見据えるところが氷上のチェスと呼ばれる所以でしょう。

で、実はここからが本題なのですが、

これまでオリンピックで活躍しているカーリング選手はほとんどが北海道出身です。

それもマチ興しでいち早くカーリング場を整備した旧常呂町出身選手が中心となってきました。

もちろん施設さえ整備すりゃ選手が育つわけではありませんが、まずは常呂町のように競技人口をつくり出さなければ何も生まれません。

その上で青森のようにチームづくりに力を入れれば良いのであって、

この北海道において何故にそれが成されて来なかったのかが不思議でなりません。

と言うのは、近年これだけ盛り上がりを見せているにも関わらず、なかなか身近にカーリング施設が整備されないという事なのです。

念のため検索してみたら旭川はもちろん札幌にすらまだ専用施設が無いではありませんか。

専用施設とまで行かなくとも、冬はだまっても凍る旭川のような地であれば気軽に使える簡易的な施設が数多くあっても良さそうな気がします。

一般市民にもカーリングをやってみたいという人は多いのではないのでしょうか?

私も近くにカーリング場があればぜひやってみたいです。

かつては愛好者からボードの聖地と呼ばれ、ワールドカップまで開催した旭川・・・その実績を何ら生かせる事なくボードもスキーも衰退の一途です。もちろん有力選手も出てきません。

スポーツ面でも冬を生かす事こそ旭川の真骨頂であると思います。

やたらとパークゴルフ場ばかり造らず、少しは常呂や青森を見習うべきではないでしょうか。

Re: 手榴弾爆発事件 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 2月19日(金)19時31分11秒

[返信・引用](#)

我々の旭川 さん、情報ありがとうございます。

最近あまり興味をひかれる記事がないので教えていただかなければ見逃しているところでした。

6人の子供たちが亡くなっていたんですね。

てっきり近くに戦前まで射撃訓練場があったがための事故かと想像しましたが、どうやら進駐軍のものらしいですね。

敗戦の混乱の中とはいえ、やっと平和が訪れたとたんの事故・・・

いや、事故というよりはいいかげんな進駐軍が引き起こした「軍災」。

犠牲になった子の親たちはただただ無念であったと思います。

Re: 手榴弾爆発事件 投稿者: [我々の旭川](#) 投稿日: 2010年 2月17日(水)17時49分4秒

[返信・引用](#)

> [No. 292\[元記事へ\]](#)

momongaさん、

月間メディア旭川3月号140頁に  
件の手榴弾爆破事件の記事が載りました。

是非チェックしてみてください。

男山酒蔵開放 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 2月15日(月)20時49分4秒

[返信・引用](#)

毎年この時期すっかり恒例となっている男山酒蔵まつり（酒蔵開放）ですが、  
恥ずかしながら初めて行って参りました。

これまで行こう行こうと思いつつ、最大の目的はモチロン日本酒の「試飲」にあり

ますからクルマでは行けないし、  
かと言って一旦街の中へ出てバスを乗り継いでまで行くのはチト気が重い・・  
タクシーで往復すると金賞受賞の大吟醸酒が買えてしまうくらいの料金がかかる  
し・・  
改めて環状線を走るバス路線がない事を恨めしく思っていたものです。

今回は酒が全く飲めないという方をうまく巻き込んで、もとい、自ら運転を買って出てくれた優しい方がたまたまおりましたので有難くあまえる事にいたしました。m( )m

しかし、すごい人出でしたねえー。  
新聞報道では一万人の入場者があったとの事。  
開場は午前10:00にも関わらず朝8:00頃には門の前に並ぶ列ができていた  
そうです。  
朝っぱらからいったいどんだけ「試飲」しようというんでしょうね(笑)

私は午後になってから行きましたが、  
門からゾロゾロ出てくる方々にはけっこう出来上がっている方が数多く見受けられました。  
入口でいきなり全員に一合ビンを配っていたのにもちょっと驚きです。  
もちろんそれを開封する必要もなく会場内では男山各種銘柄や限定酒がたっぷり  
「試飲」できました。  
なるほど、一通り味見するだけでもまともに飲んでいたら一合二合あつと言う間で  
すなこりゃ(笑)

昨日は未明まで-15℃、日中でも-3℃までしか上がらなかった寒空の下、  
私も含めたくさんの来場者は厳寒の一日を美味しい地酒でほのぼのとしている様子  
でした。

ふと思ったのは・・  
「北の灘」のマチらしく、市内の蔵元が一斉合同でこのイベントを開催できないも  
のかなあ、と考えた次第です。

「北の灘」  
[http://homepage2.nifty.com/momonga\\_farm/machi/kitanonada.html](http://homepage2.nifty.com/momonga_farm/machi/kitanonada.html)

Re: 旭川人の心意気を北彩都で 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 2月 9日(火)19時58分  
32秒

[返信・引用](#)

ascapitさんどうもこんばんは。  
わざわざのご訪問、こちらこそありがとうございます。

上野ファームへは昨年5月から7月にかけてずいぶんと通いました。  
主な目的はHPに載せる写真を撮ることでしたが、いつ行っても訪れる人の多い事  
にびっくりしました。  
それまで年間3万人と聞いていましたが、昨シーズンはおそらくそんなもんで済  
まないだろうと見ています。  
テレビドラマ放映直後のシーズンでしたのでその影響も大かと思われます。

最初は旭山動物園と抱き合わせの観光客が多いんだろうな、と考えていたのです  
が、  
周りの人々の雰囲気や会話を聞いていると、どうもそうではない・・  
駐車場に停められている車も大半が自家用車がレンタカー。  
むしろ、富良野の風のガーデンとセットで、あるいは美瑛などのお花畑とセットで  
訪れる人が多いんだな、という印象を強く受けました。  
つまり動物園のついでではなく、あくまでガーデニングや花が目的の愛好者の比率  
が高いのだと感じた次第です。  
正確な数字はつかんでいませんが女性を中心に思ったよりこの辺りの愛好者人口は  
多いようですね。

私も上野ファームで初めて英国風ガーデンというものを目の当たりにしましたが、  
日本庭園ほど繊細に造り込まないワイルドさが北海道の自然景観に実に良くマッチ  
していると思います。

おそらく旭川のような都市空間であればごく自然な形で溶け込むのではないのでしょうか。

従来の箱物施設に比べると確かに安価でリスクも少なく済みますから、おそらく今後あちこちで類似のガーデンを整備するところが出てくる気がします。しかし、北彩都のような立地条件だけではどこにもマネできないところがミソですよ。

しかも元々の「本家」はこちらにある・・

是非とも北彩都に実現したいですね。

風のガーデン・上野ファームとはまた一味違った魅力の「都市内」ガーデンを期待します。

ascapitさんがブログで言われてるように、けっして風のガーデンのコピーなどではない事を周知徹底する必要がありますね。

まずは道新記者に徹底する必要があるかも知れません（笑）

旭川人の心意気を北彩都で 投稿者:ascapit 投稿日:2010年 2月 8日(月)21時13分46秒

[返信・引用](#)

> [No. 306\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

どうも、ごぶさたしております。  
当ブログのご紹介をして頂きましてありがとうございます。  
とても嬉しいですね。

駅周辺にガーデンをつくって終わりということではなく、  
ここを出発点にして、どんどんガーデンを広げて行って欲しいというのが私の願いです。

今回の構想も、ただガーデンをつくって観光客を呼ぶんだということだけではなく、  
旭川の象徴である川・河川敷・河畔林をガーデン・花で彩り、  
旭川にしかない景観を育成して、素晴らしい街にするんだという  
旭川人の心意気が何よりも大切であると感じております。

そのためには、上野さんのようなセンスのある人に統率していただくことが、  
何よりも重要なことではないかと思っています。従来型のテーマパーク的な発想や、  
公共事業的な発想を排除して、あくまでガーデナーからみた視点・視線をもとに  
旭川という都市を、他には無いものに変えていっていただければなあと思います。

小樽の運河も、運河を生かして魅力的な景観にしよう、  
函館の西部地区も、倉庫を生かして魅力的な景観にしよう、  
そういうふうに来てきて、観光地になっていったわけですからね。

旭川でもそれができれば、おのずと観光客を来るとなるとおもいます。

費用・維持費の問題・冬の問題・運営管理の問題・河川法の壁など  
問題はいろいろあるかとは思いますが、  
実現に向けてのハードルはそれほど高くないと思います。

是非とも、素晴らしい形で実現して欲しいものです。

長文大変失礼致しました。  
これからもよろしく願いいたします。

<http://ascapit.blog110.fc2.com/>

北彩都に「風のガーデン」 投稿者:momonga 投稿日:2010年 2月 5日(金)21時30分24秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

ここ数日間、道新朝刊の旭川ローカル版に北彩都の特集記事が連載されています。  
新駅舎に始まり、2本の忠別川新橋、新駅前広場、土地利用計画、等々、明日までの連載のようです。

ここまで特に目新しい情報や問題提起は含まれていませんが北彩都の全容はつかめると思います。

そんな中、今日の朝刊にこの連載とは別に『旭川市、忠別川河畔に庭園』という思わぬ全道向け記事が載りました。

「風のガーデン」旭川にも・・・と題されたこの記事。

もともと旭川にこそ上野ファームという「風のガーデン」のモデルとなった言わば本家本元の庭があるのだからこの表現はおかしいだろ？と思いつつ注目しました。

場所が駅南側の忠別川河畔というだけで今一つはつきりしないのですが、神楽岡寄りの河川敷広場が既にほとんど整備を終えようとしている事を考えると、おそらく高架開通後に整備される大池付近の河川敷ではないかと思われま

す。市内経済界や観光協会もこぞって賛同してやるようですし、何よりも風のガーデンを監修した上野砂由紀さん自身が協力を表明しているとの事で、もう何も考える必要はありません。

西川市長は「市民と対話しながら検討・・・」などとかったるい事を言わずにとっとと予算を組むべきです。

風のガーデンを訪れる観光客のかなりの部分は交通が不便にも関わらず上野ファームまで来ているのです。

これは旭山目当ての観光とはまた別の需要が加わっているとも言えます。

北彩都計画にやっと初めて出現したまともな具体的集客案、何としても実現させてほしいものです。

さらに大池の畔には何ら必要性のない店舗などではなく、全力をあげてメジャーなホテルを誘致すべきです。

それはともかく、これはまさに旭川ラボラトリーascapitさんが提唱されていた事の具現化ではないでしょうか。

「旭川市内を簡単に観光地とする方法」

<http://ascapit.blog110.fc2.com/blog-entry-22.html>

実は私もこの時に初めてコメントを入れさせていただいています。

皆さんも是非ご一読ください。

上野ファームについてはこちらをご覧ください。

[http://homepage2.nifty.com/momonga\\_farm/machi/garden.html](http://homepage2.nifty.com/momonga_farm/machi/garden.html)

---

Re: 高齢者の住み良いまちへ。書店ができることは？ 投稿者:momonga☑ 投稿日: 2010年 2月 5日(金)20時37分42秒

[返信・引用](#)

>高齢者のパートナーとしての書店のあり方って、考えられないものでしょうか。

富貴堂MEGA店の店づくりのコンセプトが図書館ではなかったかと記憶しています。高齢者の事まで意識したかどうかは分かりませんがそれに通じるものもあると思います。

広い店内に検索性パソコンとベンチ椅子を配置し、喫茶コーナーなども併設してゆっくりと本を選んでもらう・・・

今でこそ新鮮さが薄れてしまいましたが従来の「読みたいならまず買え」式の本屋には無かった発想だと思います。

近年高齢者向けマンションが増えており、中心部にもそれが増えてくればMEGA店のような存在は良きパートナーになり得るのではないのでしょうか。

ただし、それまで富貴堂がMEGA店を支えられればの話ですけど・・・

高齢者向けというわけではないでしょうが市では北彩都に市営住宅の建設を予定しているようです。

おそらく民間への土地売却だけではとてもあの広い区画を捌き切れないと読んでいるのでしょ

うね。大昔のような住宅不足じゃあるまいし、今さら新たな公営住宅の建設は時代錯誤も甚だしいのですが、

北彩都の一面を居住スペースにするという考え方は必ずしも反対ではありません。膨らみすぎたドーナツ化により拡散した人口と都市機能のある程度中心部に戻して



コンパクト化を計る事は今後あらゆる意味で重要です。  
特にクルマを使えない（あるいは使えなくなった）高齢者ほど公共交通機関の便利な都心部が良いと思います。  
ただしその場合でも市営住宅である必要はないし、逆に地価の高い都心部の一等地に市営は問題ありです。  
なぜなら民間マンションに対する民業圧迫になってしまうし、  
数からすると一握りの入居者のために何故に都心でよけいに税金が使われるのか？  
といった不公平が生じるからです。  
どうしてもやるといふのなら民間並の家賃にすべきです。

話がちょっと逸れてしまいましたが、  
高齢化が急速に進む今後は高齢者にとって住み良い街づくりは大切ですよね。  
民間である書店も、本を楽しむだけではなく他の用事も一緒に済ませられますよ、  
といった配慮も必要かと思えます。  
集客狙いだけでなく、高齢化社会に対応する意味での店舗の複合化という側面も出てくるかもしれません。  
「他の用事」に何を想定するかは難しいところであり腕の見せ所でもあります  
が・・・

高齢者の住み良いまちへ。書店ができることは？ 投稿者: こうき 投稿日: 2010年 1月31日(日)10時38分1秒

[返信・引用](#)

> [No. 303「元記事へ」](#)

momongaさん、おはようございます。

富貴堂さんに対する私の意見におおむねご賛同いただき、うれしく思います。私は成人してから旭川に戻ってきたので、地元とともに歩んできた企業という富貴堂さんに対しての認識を持っておりませんでした。なるほど、その点はmomongaさんに教えていただき認識を改めた次第です。

富貴堂さんが今後スリム化（いち早く電子化へ取り組む）するか、肥大化（異業種と複合店舗化）するか。あるいはハイグレード化（松丸本舗的）するかは私企業たる富貴堂さんの方針なので軽々に申せませんが、ユーザー側から見れば何らかの変化をせざるを得ない時期に来ているというのは逃れられない事実だと思います。今、アクションを起こす時期です。せつかくライバル企業の進出が噂され「書店」に関心が高まっている時期に、手をこまねている場合ではないのです。「うちは今までどう歩んできて、これからはこうなる。他とはこう違う」ことを地元メディアと結託してでもやるべきでしょう。長年のアドバンテージを生かさずしてどうするか。

富貴堂本店の元店長の方が立ち上がり、市へアクションを起こしました。方法としては実にまずいやり方（市民の賛同を得られないばかりか、反発を買う恐れあり）です。しかし「このままではまずい」という意志は感じることができます。では当事者たる富貴堂さんは何を考え、何をしようとしているのか？それが市民に伝わらない。人は「新しい」ものを賛美しがちですので、埋没も容易に予想されます。

> しかし現在の富貴堂をはじめとする市内の書店には無くてコーチャンフォーにあるものとは何なのか？を考えた時、  
> 私は複合店であるという以外にほとんど差別化と呼べるほどの違いはないと思います。

その「一つ」の違いだけでも、消費者のニーズを満たすに十分なかもしれませんがね。車社会を容認している旭川ですから、「ワンストップ」で長い時間滞在できるような場所は大変便利です。ウエスタン永山パワーズ、イオン旭川西、ユニクロ、ディノス旭川などと大型書店が駐車場を共有していたら？コーチャンフォーの斬新さは薄れると思います。観光協会の中核であるプリンスグループなど地場の有力飲食店とのコラボレーションなど、貪欲に可能性を模索する（水面下でしているかもしれませんが）ことを旭川市民は求めているように思います。誰もがみんな、内心は旭川の企業にがんばってほしいのですよ。

> 少なくとも平気で宗教施設に北彩都用地を売る市やJRでは有り得ないのは確かですし、期待する事も間違いです。  
「良いまちを作る」という明確なビジョンもなく（ここは、反対運動の方々も不満に思っているようですが）「不動産屋」に成り下がった市。本業を忘れて中期計画で堂々と「不動産屋」たらんという方針を掲げるJR北海道。「似たもの同士さ俺

たちは～」ということですね。

高齢者のパートナーとしての書店のあり方って、考えられないものでしょうか。そこにヒントがありそうな気がしています。

Re: 力強い富貴堂を期待しています。 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 1月25日(月)22時04分28秒

[返信・引用](#)

こうきさん今晚は。

実はこうきさんの「力強い富貴堂を期待しています。」というタイトルが私の言いたい事のほとんどを一言で言い表してくれています。何と云っても富貴堂は戦前から旭川の書籍業界をリードしてきた存在であり、とかく保守的になりがちな老舗店でありながら現在の郊外型店舗への素早い転換は見事でした。現在でも郊外店は常時クルマの出入りが絶えず、「恩恵」を受けてきた市民は多いのではないのでしょうか。一方で学校教科書の配布協力やミニギャラリーなど地味ながらも地元の文化発信等にも貢献してきたと思います。今はどうしてるか知りませんが我々の年代はかつて年度始めには富貴堂の本店へ教科書を受け取りに行ったものです。私はいくら私企業とはいえこのように地域と共に長年歩んできた店が、一時の流行りに乗ってるに過ぎない(と思われる)だけの、果たして地元にとりだけ溶け込むつもりがあるのかも懐疑的な店に取って代わられてしまう事があるとすればこれほど残念な事はないと思っています。

もちろん、感傷論だけで語るつもりはありません。これがもし地元にはない圧倒的な差別化を備えた「黒船」であるならあきらめもつきましょ。しかし現在の富貴堂をはじめとする市内の書店には無くてコーチャンフォーにあるものとは何なのか?を考えた時、私は複合店であるという以外にほとんど差別化と呼べるほどの違いはないと思います。併設店のミスタードーナツにしても旭川市民にとっては何ら目新しいものではありません。書籍等の在庫が多い事は確かに望ましいに違いないですが果たしてどれだけの方が本気でそれを望んでいるか?まさにこうきさんが言われる「過剰な利便性を追わず・・・」を考える事が大事だと思います。

ただ、だからといってコーチャンフォーの出店に反対し、市やJRに対して陳情する一部の方々の動きは全くのお門違いであり馬鹿げてると思います。少なくとも行政に対し訴えるような事例でない事は明白です。ここに富貴堂関係者が加わっているのは誤解の元であり、情けない話です。富貴堂が今やるべき事はまさにMEGA店出店の際に見せた迎撃・反撃の姿勢ではないでしょうか。

私はこれまで書籍や音楽映像レンタルの店舗販売は先細りの商売と言ってきましたが、完全になくなる事は有り得ないというのは全くの同感です。「紙の本」は未来永劫なくなる事はないでしょうね。ただ、かなりの部分は電子書籍やネット販売・配信に置き換わるとして、逆に現在の店舗についてもこれらの配信ステーションと成り得る可能性があります。つまり、店舗に版元と直結の高速専用端末を置き、その場でダウンロード&コピーサービスを行なうといったイメージです。デジタル化された書籍・音楽・映像は基本的にこれで現物在庫を置く必要がなくなります。かつ、版元で扱うものは全て揃うし、ネット販売と違って届くまでに何日か待たされる事はありません。郊外店のような店舗ではこの端末&コピー機器と必要最小限の売れ筋書籍(紙)のみ置いておけば良いわけで、そうする事によって効率の悪い過大な在庫負担が大幅に軽減されるのではないのでしょうか。今後はむしろ店舗丸ごとのデジタル化・コンパクト化が書店の生き残る道のような

気がします。  
 そうなるとコーチャンフォーのような過大なスペースは逆に時代に逆行する形となるわけです。  
 ただし複合型店舗にするという面は今後大に見習うべき点かと思います。  
 業種にとらわれない様々な店舗を併設して相乗効果で集客する事は特に書籍業界にとっては必要ですよ。

私はどんな形にせよこういった事に対抗できるとすればやはり富貴堂しかないと思っています。  
 それも、実は現在失脚状態にある前社長でなければ難しいかな・・とも感じています。  
 少なくとも平気で宗教施設に北彩都用地を売る市やJRでは有り得ないのは確かですし、期待する事も間違いです。  
 「力強い富貴堂」私も願っています。

P S

ホームマックとニトリを例に上げたのは単に扱う商品そのものの「需要度合」を伝えただけで、その品質の良し悪しとか経営姿勢は全く別問題です。  
 書籍という商品の需要が長年ジリ貧傾向を続けてるのに対し、ホームマックは主に日曜大工ブームの時流に乗った商品需要で伸び、ニトリは独身やアパート住まいなど数年間だけ使用の需要に応える安い商品で伸びた事を言いたかったのです。

力強い富貴堂を期待しています。下 投稿者: [こうき](#) 投稿日: 2010年 1月23日(土)10時29分8秒

[返信・引用](#)

※長いので2つに分けました

>ホームマックやニトリといった常に時流に乗った商品をメインとするならいざ知らず、そうではないのです。

私には、この両社がGoodで、リ社がBadであるというロジックがわかりません。むしろ全部同じに見えます。「消費者のニーズに合わせ、時代の流れを読み取り、自社のビジネスモデルを徐々に変容させて勝ち抜いていった企業」として。その足元には、打ち負かされた地元の金物店、家具販売店が死屍累々として横たわっています。どこも「地元の産業を育成する」なんてことは（建前は別として）考えてもいないでしょう。ニトリについてははっきり言いますが、粗製乱造された家具を売って儲けているのが「立派な経営者」なのですかね？これに旭川の家具関連の業者さんの多くははっきりと答えを出せなかった。それは大変残念なことです。

話が脱線しましたが、「旭川から書店が消えていた」ようになることは近未来的には可能性は「ゼロ」だと思います。本当に「ゼロ」になったら私がやります（笑）。35万プラスアルファのマーケットが今後徐々に減っていったとしても、それを独占できるなら誰かが飛びつくでしょうし。本当に「ゼロ」になるときは、電子ブックの流れに日本の出版業界が抵抗できなくなったとき。しかしその時には旭川市に限らず日本のあちこちの地方都市から書店がなくなるでしょう。

富貴堂が生き残る道を市民に呼びかけ、意見を募ってみてはどうでしょうね。意外に本気で考えてくれる人は多いのではないのでしょうか。それが永年の「愛着」の結果でしょうからね。

○地元の飲食店、家具販売業者、アパレル、と手を組んで「コーチャンフォー」と同規模の複合店を創り、勝負する。  
 ○東京丸の内「丸善」にある「松丸本舗」を参考に「大人、高齢者が満足しうる純粹かつ上質な「書店」に変容する。  
 ぱっと思いつきですが、後者なら近道かも。純粋な書店としての生き残りは困難ですが不可能ではありません。しかしその場合は、消費者は「ジュンク堂書店」のように激しい競争の中にあっても地域一番店を目指す「力強さ」を求めます。そうできなかったことを含め、どうも富貴堂さんには「弱弱しさ」を感じてしまいます。これは多くの旭川市民も、同じではないのでしょうか。本来は力強くあってほしいのです。釧路や帯広、函館、そして札幌の業者にも負けないくらい「力強く」。

現状維持で生き残る唯一の、わずかに残された道は、先ほど申したように「地元の政治・経済が一体となって、特に首長が先頭に立って、長期的視野に立ち、多少の不便を我慢して地元経済を育成してもらえるように地域住民を納得させる」ことが

できた場合です。しかし私は、その点が旭川は一番「不得手」なように感じてしま  
うわけですね。  
長文でごめんなさい。

力強い富貴堂を期待しています。上 投稿者: [こうき](#) 投稿日: 2010年 1月23日(土)10時27分53  
秒

[返信・引用](#)

momongaさん、いつもいろいろ教えていただきありがとうございます。ブックス平  
和の成り立ち、MEGA店の出店経緯など初めて知りました。とてもためになります。

こうした問題を考える上で大切なのは、「過剰な利便性を追わず、地元経済の発展  
(維持)を地域住民全体で考える」これを、自治体の首長以下が自分の言葉として  
説明し、理解と賛同を得られるかだと考えています。その意志がない、あるいはあ  
っても説明不足であれば事態はさらに深刻化していく、と。旭川市の場合、市長に  
は「その意志がない」にあてはまると思いますので、難しいなあと考えるわけ  
です。

「雇用問題の深刻さを、長期的に考えるか、性急な対処を考えるか」という問題に  
置き換えてもいいかもしれませんが。いずれにせよ秋に選挙が迫っているというの  
は、この問題を考えるにあたってどうしても目先に焦点がいつてしまう原因になっ  
てしまっているように思えますね。旭川が「長期的視野に立って考える余裕をなく  
してしまっている」ことは私も日々の仕事を通じて実感しています。本来単年度で  
なく、4年の任期内で考えることのできる首長だけが余裕をもって問題にあたれ  
ると思うのですが。あとは草の根運動で広めていくしかないのでしょうか……。

以下はmomongaさんの考えとぶつかるところと承知で書きます。

私は現状の富貴堂を保護して今のビジネスモデルを続けていても、どのみちそう長  
くない先に命運が尽きてしまうのではないかと懸念を持っています。もちろん  
私は富貴堂の内情にうといので、どういった資産状況かは分からない上で申して  
おります。あくまでも外からの見方ですので間違いがあればご指摘くださるとうれ  
しいです。

よく言われる「活字離れ＝本離れ＝出版業界の不況」がまやかしたとしても、今後  
「書籍・文具・音楽映像レンタル等を【メインとする】店舗販売の構造的不振」が  
改善されることは、新しいビジネスの形態が創造され、消費者のニーズをかなり満  
たしつつある現状では非常に難しいと考えます。

これは新川店、釧路店を訪ねてみて感じたことですが、リ社はそれほど「本」その  
ものに愛着を持っているとは感じません（ここは富貴堂が着目すべきところで  
す）。あくまでも4つある業態のひとつ、もしくは「ドーナツ（新川はサンドイッ  
チ）を売る上でのアイテムのひとつ」であるかもしれません。これは予想できる  
ことですが、今後数十年で（数年？）電子ブック化が進み、書籍を置く意味がなくな  
ればあっさり別の何か置き換え、集客を図るでしょう。それは本好きの人にと  
っては憤慨すべきことですが、企業としては「強さ」だといえます。リ社も北海道  
にとっては不況の中雇用を守る優れた企業といえなくもなく、それを非難すべき理  
由がメディア側にも見当たりません。

Re: コーチャンフォーへの懸念 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 1月20日(水)19時07分10  
秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

こうきさん、さっそくのレスありがとうございます。  
コーチャンフォーについては賛否両論ありますよね。  
一般の消費者の大半はちょっと目新しい店ができて選択肢が増える事を喜ぶでし  
ょうが、  
その気持ちは私にもわかりますが、地元旭川を思うとき、ただ盲目的に喜ぶのでは  
なく「ちょっと待てよ・・・」と考える事も大事ですよ。

今はどんな業界も生き残りを賭けた生存競争ですから、たとえ地元企業であっても  
努力を怠った企業は淘汰されてもやむを得ないという面はあります。  
しかし、旭川の書店業界はそれなりに努力してきた方だと思います。  
古くは市内のいくつかの書店が大同団結して合併、ブックス平和となった経緯もあ  
りますし、  
富貴堂はいち早くビデオレンタルを併設した郊外型店舗への大転換を計り、若い世  
代の引き付けに成功しました。

飲食店こそないものの、この時既にやっている事はコーチャンフォーと変わりありません。  
MEGA店は本当は予定になかった店でしたが、当時マルカツの空いたフロアに本州大手書店が出店する話が進められており、「こっちがやらなきゃやられる」式の対抗手段としての攻めの出店でした。  
その後もツタヤを導入したり、中途半端な店舗は集約し、辛抱して営業していた本店もとうとう閉じてしまいました。  
富貴堂にとって大正時代の創業以来の場所である本店を閉じる事は苦渋の決断だったと思います。

破綻したブックス平和やアラモアナなども店舗の集約や複合化を計って経営努力し、そこそこ客も入っていたと思います。  
にも関わらず体力が持たなかったというのは、根本的には書籍販売の利益の薄さにあります。  
返本システムが主な要因ですが、出版文化を守るためというのが業界の理由のようですから無くなる事はないでしょう。  
CD・DVDなどのレンタル事業も考えられているほど利益が出ないのが実情ですし、これこそ近い将来には大半がネットを利用した有料配信に置き換わるのではないかと思われま

こんな「うまみ」の少ない書籍業界ですから、私にはコーチャンフォーが本気でその地域に根ざしたカルチャーセンターを目指して出店するとはどうしても思えないのです。  
Fourの一つであるミスタードーナツにしても旭川の既存店との棲み分けが可能なのか？  
ひょっとして、採算が合わないと見るや直営店舗をどんどん縮小してフロアを他に賃貸する事が当初からの狙いなのでは？などと考えたりします。  
そうなると地元書店にとってはネット風に言うなら「アラシ」以外の何者でもありません。  
これが私の妄想である事を願っています。

今回のコーチャンフォー予定地はおっしゃる通り北彩都でもJRの所有地ですよ  
ね。  
私もJR北海道はかなり他人のふんどしで相撲を取っていると感じます。  
高架はもちろん、駅舎にしても駅前広場にしても道や市が大半のカネを出して整備するのに、付加価値が上がったおいしいところはJRが持って行く算段です。  
まあ、事実上の赤字企業ですし、ないカネを出せとは言いませんが、せめて所有地の売却や、新駅高架下・隣接地の利用にあたっては街の活性化の面を考慮し協調すべきだと思います。  
かつてJRの前身、国鉄清算事業団時代のなりふり構わぬ土地売却と同じ事をやられてはたまりません。  
その結果、駅から至近距離の一等地に新興宗教施設が建つという珍奇な状況が生まれたのですから・・・  
当時この計画を知った市内の財界有志が広く資金を集って土地を先行取得してしまおうとした運動は記憶に残るところです。  
北彩都（石田）病院が今の場所に新築した理由の一つにもこの駅隣接地の先行取得的意味合いがあったと聞きます。  
建前上の組織は別とはいえ、JRにはこのような「前科」があります。

何もコーチャンフォーに土地を売却する事が悪いと言うつもりはありません。  
私がクエスチョンマークを付けるのはあくまでコーチャンフォー自身の経営意図に関してです。  
できれば旭川に出店する前に、既に出店した店舗の動向をもう少し模様眺めできれば良いなあと思っています。

Re: コーチャンフォーへの懸念 投稿者: [こうき](#) 投稿日: 2010年 1月17日(日)15時10分27秒

[返信・引用](#)

> [No. 298\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

「経済」「メディア」両誌の記事を読んだ感じでは、市側もリアブル側も肅々と建設を進めていくという感じのようでした。

市、というよりJRとしては「駅前」と「買物公園」とは切り離して考えているように感じています。駅前活性化はJRの望むところだけど、買物公園活性化には無関心。それは、JRさっぽろ駅前の再開発でJR北海道が大きな果実を得た一方で、市民に親しみのある大通公園の商業が落ち込んだこととよく似ているように思うのです。

新駅に家電量販店を誘致する、という噂もありました。ターミナルホテル、エスタはしばらく大規模な改装をしていないはず。すでに中期計画で「人口減で乗降客数は今後増加しない」「不動産売買、テナント料などで多角化経営を目指す」方針のJR北海道が、今後新駅をどうするのかも注目しています。駅の建設の費用面では、JR北海道は確か半額程度の負担で済んだはず（あいまいですが）。JR北海道まるもうけ、にはしたくないものです。

コーチャンフォーと富貴堂MEGAとは直接バッティングしないようにも思えます。私は郊外に住んでいますが、街に用があるときは自然にMEGAにも足が向きます。しかし通常は宮脇、イオンの未来堂、ゲオの新刊コーナーで購入します。むしろこれらにとって大きな衝撃だろうな、と思います。今後神楽地域が商圈となり、さらに中心部活性化計画で「街なか居住」が進められるなら富貴堂MEGAの価値はなんとか維持できる、というのは安易な考え方でしょうか。（郊外店はやられますが）

いずれにせよ、書店業界としては今後「電子ブック」の成長にどう対応するか、その答えを迫られそうです。そうなれば、コーチャンフォーも富貴堂も悩みは一緒。AMAZONが伸びている今、書店&文具では厳しいですね。コーチャンフォーの利益の大半はドーナツではないでしょうか。大規模ですが、本の陳列などは「味がない」という評判です。本好きを満足させる店づくりでは富貴堂は勝てる、そう思いますが。人材がいれば、ですけど。

コーチャンフォーへの懸念 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2010年 1月15日(金)18時15分35秒

[返信・引用](#)

しばらく前から噂のあったコーチャンフォーの北彩都出店が本決まりのようです。新聞報道では具体的な場所も示されていました。「おびった」と新成橋通りを隔てた隣接地のようです。新成橋通りとは、解体された宮前跨線橋跡の高架下を通過して南6条通りに突き当たる道路です。

商業施設の北彩都出店による買物公園への影響が囁かれています。私は殆んど影響しないと思います。同じ北彩都でもかなり離れた地区です。むしろ近いのは銀座通りですが、競合する業態ではありません。クルマで直接趣く客が殆んどでしょうから、どちらかと言えば郊外型店舗がまた一つ増えると考えた方が正解でしょう。ただし、同じ業態である地元の老舗富貴堂書店は相当な直接的打撃を受ける事は避けられません。また、書籍を扱う他の書店も然りです。何らかの対抗手段を打たない限り窮地に立たされるのは間違いないでしょう。

私の感ずる懸念とはこの業界の先行き不安にあります。つまり、書籍・文具・音楽映像レンタル等をメインとする店舗販売の構造的不振です。10数年前までは斬新だったこの分野も、今やかなりの部分はコンビニやネット販売・配信に置き換わりつつあり、若者の書籍離れとネット普及も相まって店舗の減退傾向は今後ますます進むと思われます。特に書籍は元々利幅が非常に薄く、売上の減少はそのまま経営の圧迫に結びつきます。

旭川ではブックス平和やアラモアナなどが既に破綻の憂き目にあい、富貴堂も店舗を集約してきています。  
これらの事情はどこも同じでコーチャンフォーだけが例外となる要素はどこにもありません。  
むしろ大規模店ほど膨大な在庫や店舗経費を捻出するための利益源を他に確保しなければ維持不可能と思われる。  
コーチャンフォーではおそらくそれは併設店舗でありテナント頼みではないでしょうか。

私は正直言って本業でもうけの出せない店舗の大規模化・多店舗展開が長続きできるとは思えません。  
最初は目新しさや蔵書・在庫の多さなどを「見物」しに来る人は多いでしょうが、ホームマックやニトリといった常に時流に乗った商品をメインとするならいざ知らず、そうではないのです。  
しかも失礼ながら本州の大資本でもない、釧路の一地方資本です。  
ちょっとどこかでつまづけばたちまち店舗撤退だけでは済まない会社丸ごと破綻となる恐れがあります。  
そうなると北彩都に巨大なシャッター店舗が出現するだけではなく、最悪、元々あった他の書店も共倒れとなり、気が付けば旭川から書店が消えていたという事になりかねません。  
私は何故に今さらこのFour（フォー）なのか？という疑問でいっぱいです。

客の立場で考えれば、どんな本でも、あるいはどんなCD・DVDでも置いてある大規模店は嬉しいものです。  
しかし、通常は売上の7~8割というのは新刊や新作などの売れ筋商品で占められるものです。  
つまり在庫を10倍にして何でも揃う大店舗にしたところで全体の売上はせいぜい2~3割も増えないのです。  
しかしながら経費は確実に在庫の多さ店舗の広さに比例して掛かります。  
主力商品に需要増が期待できないどころか先細り確実な中、本当に大丈夫なのでしょうか？  
もちろん民間企業のやる事ですから私のような素人の思いも寄らぬ策を秘めているのかもしれませんが、はっきりしているのは、限られたパイの奪い合いの典型であるため既存書店との共存は有り得ないという事でしょう。

Re: 明けましておめでとうございます 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 1月 5日(火)21時50分54秒

[返信・引用](#)

こうきさん、こちらこそ今年も宜しく申し上げます。

おっしゃる通り北彩都は今年から来年にかけてかなり形が見えて来ますよね。  
私もけっして北彩都をデータセンターやコールセンターなどで埋める事を良しとする訳ではなく、本当のところは市民はもちろん、観光客を呼び込める街になれば理想的だと思っています。

そのためには何をすべきか？  
少なくともコーチャンフォーのような店ではない・・・と考えます。

この件、近日中にまた書き込みます。

Re: 明けましておめでとうございます 投稿者: こうき 投稿日: 2010年 1月 4日(月)20時07分20秒

[返信・引用](#)

> [No. 295\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

今年もよろしくおねがいたします。  
コーチャンフォー出店など、北彩都計画がどんどん「見えてくる」今年、momongaさんのサイト管理人としての鋭い問題提起を楽しみにしています。

明けましておめでとうございます 投稿者: momonga 投稿日: 2010年 1月 4日(月)18時32分0秒

[返信・引用](#)

本年も論・旭川を宜しくお願いいたします。

年末は公私共にゴタゴタしていて触れたい話題がいくつかあったにも関わらず書き込めませんでした。  
まだちょっとゴタゴタしてますが今年もまた旭川を論じて行きたいと思いますので皆様宜しくお願いいたします。



気がつけば・・・ 投稿者:momonga✉ 投稿日:2009年12月29日(火)12時37分22秒

[返信・引用](#)

この11月から12月にかけて身辺わたわたとしている内にすっかり年も押し迫ってしまいました。  
気がついたらもう1ヶ月半も書き込んでなかったんですね・・・m( )m

この間、北彩都にもコーチャンフォー出店決定などの動きがあり、前回以降書きかけ途中だった北彩都考も今さらとなってしまいました(笑)  
この件は年明け落ち着いたところでまた書き込みたいと思います。

北彩都についてはその用途についてまだまだ言いたいところが多いですが、他にも色々話題があることだし、続編型式での北彩都考はいったん区切る事にし、またその都度感じた事を述べて行きたいと思います。

《[前のページ](#)》 [22](#) [23](#) [24](#) [25](#) [26](#) [27](#) [28](#) [29](#) [30](#) [31](#) [次のページ](#)》

以上は、新着順1251番目から1300番目までの記事です。

/ 32 [ページ移動](#)

新着順  投稿順 [表示切替](#)

[【論・旭川】HPへ戻る](#)

[管理者へメール](#)

[RSS](#)

[管理者メニュー](#)

[自分の投稿の編集](#)

[teacup.レンタル掲示板](#)